

議事概要記録

開催日時	令和3年10月16日(土) 13:00~15:00	開催場所	Zoom Web形式
会議種別	令和3年度 第4回常務理事会	議長	久保 光史
		書記	久保 光史
出席者 <敬称略>	田中 規仁、田原 靖子、神藤 洋次、栗林 伴有、丸澤 佳子、久保 光史 6名		
欠席者 <敬称略>		オブザーバー	
次第			
議事概要	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 臨床検査技師へのタスク・シフト/シェアに関する厚生労働省指定講習会</li> <li>2. 2023年(令和5年)近畿支部医学検査学会</li> <li>3. 臨地実習指導者講習会</li> <li>4. 次年度勉強会 会費徴収について</li> <li>5. 個人情報保護指針について</li> <li>6. 新型コロナウイルス感染拡大防止ガイドライン</li> <li>7. その他</li> </ol>		
決議事項 及び 継続事項	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. <b>臨床検査技師へのタスク・シフト/シェアに関する厚生労働省指定講習会</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・10/31に実務委員担当者対象の近畿支部研修会開催の予定</li> </ul> <p>和臨技からは田中会長、田原副会長、栗林学術部長、丸澤経理部長、森下理事、大前理事、山本理事、久保事務局長 計8名参加の予定。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・近畿支部研修会に向けて、受講準備に関しての感想</li> </ul> <p>事前の動画視聴(700分)がかなりの負担であった。</p> <p>和臨技開催の際にも受講までに必ず視聴を完了するように事前の広報が必要であると考える。→ <u>視聴完了していないと、実技講習は受講できないため。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・和臨技での開催について、まず年度内には<b>最低でも1回の開催</b>は必須 <u>次年度から3年計画で年2回開催を目指す。</u></li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1回の研修会への参加者は60人</li> <li>→60人を下回ると運営が赤字となる。</li> </ul> <p>以上、動画視聴完了して確実に毎回の研修参加者を60人にするためには、和臨技会員への広報ならびに、各施設および施設長への広報・丁寧な説明が必要となる。</p> <p>改めて、タスク・シフト講習会担当の理事及び常務理事にて、別途臨時会議を開催して各施設長への働きかけ及び具体的な研修会開催日程および準備について検討することで一致。</p> </li> <li>2. <b>2023年(令和5年)近畿支部医学検査学会</b> <u>学会長：田中会長 実行委員長：神藤副会長 学会企画運営：栗林学術部長</u> 第1回実行委員会キックオフミーティングは8月19日(木) Webにて開催。</li> </ol>		

学会テーマについて12月末まで募集中。現時点では2題提出あり。

今後の予定として、学会運営のためのコンベンション会社の選定が必要。  
 前回前々回の支部学会担当の日本旅行がコスト面・対応面からも良いのではとの意見で一致。

**3. 臨地実習講習会について**  
 10月24日（日）臨地実習指導者講習会（中央講習会）へ葛原理事参加予定。

**4. 次年度勉強会 会費徴収について**  
 パスマーケットについて、常務委理事内でのテスト完了  
 今後の運営にあたり、やはり学術専用口座でのパスマーケット運用が必要か  
 改めて具体的な運用について調整

**5. 個人情報保護指針について**

- ・和臨技個人情報保護指針
- ・和臨技個人情報管理規定

以上について理事会承認後、和臨技ホームページへ掲載済み。

**6. 新型コロナウイルス感染拡大防止ガイドライン**

- ・ガイドライン完成版を既に和臨技ホームページへ掲載済み。

**7. その他**

●災害対策支援規程に関する説明会  
 →大前災害対策委員長参加にて申込  
 （田中会長もWG委員の為、参加の予定）

●和臨技創立70周年・法人化35周年記念誌発行について  
 記念誌発行に係る予算について、理事会審議事項へ提出

●和臨技日当の支払い条件について（田中会長より）  
 現状、和臨技事業内では4時間以上の行動で3,000円支払いの基準であるが、2時間以上の行動として見直しをしてみてもどうか。  
 例）日臨技：時間制限なし 一律5,200円支給  
 一年間の事業を対象に、時間制限なしで3,000円支給とした場合に必要な費用を会計側にて試算して頂き、それをベースに検討してみてもどうか。  
 学術部担当者費用についても含めて試算の予定。

記録作成	令和3年11月3日	氏名	久保 光史	提出	令和3年11月3日
------	-----------	----	-------	----	-----------

※ 諮問委員会で「報告書」が提出される場合、「委員会議事録」が別途作成添付される場合は添付資料で可